

よくある質問

【実証試験の目的について】

Q 1 なぜ生ごみを分別するのですか？

A 1 対象となる生ごみや紙ごみを分別していただくことで、ごみの減量や資源循環の推進につなげることができるためです。

【生ごみ・紙ごみの分別について】

Q 2 入れてはいけないものは何ですか？

A 2 以下のものは対象外のため、生ごみ・紙ごみ袋には入れないでください。

- ・貝類、卵の殻
- ・割りばし、竹串、つまようじ
- ・紙おむつ、生理用品、ウェットティッシュ
- ・たばこの吸い殻
- ・ラップ、アルミホイル
- ・牛乳パック、ジュースの紙パック

Q 3 魚や鶏の骨は入れてよいですか？

A 3 魚や鶏の骨は、食品由来の固形ごみとして入れていただけます。ただし、袋が破れるおそれがある大きな骨は、少量ずつ入れるなどご配慮ください。

Q 4 ペットのエサは入れてよいですか？

A 4 はい。ドッグフードなどは入れていただけます。ただし、容器や包装は入れないでください。

【出し方・袋の使い方について】

Q 5 水切りは必要ですか？

A 5 はい。臭いや液だれを防ぐため、できるだけ水気を切ってから入れてください。

Q 6 臭い漏れ防止のため、新聞紙やチラシで包んでから入れてもよいですか？

A 6 はい。生ごみをチラシなどで包んで入れて問題ありません。ただし、新聞、雑誌、段ボールなどのリサイクルしている紙類は、資源ごみの分別ルールに従って集積所に出してください。

Q 7 消臭剤を中に入れてもよいですか？

A 7 消臭剤などの異物は入れないでください。

Q 8 生ごみ・紙ごみだけを集積所に出してもよいですか？

A 8 配布した生ごみ・紙ごみ袋をそのままごみ集積所へ出すことはおやめください。生ごみ・紙ごみ袋を市指定の燃えるごみの袋にまとめて入れて、従来どおり指定のごみ集積所へ出してください。

Q 9 袋が破れた場合はどうすればよいですか？

A 9 新しい生ごみ・紙ごみ袋に入れ替えてから、市指定の燃えるごみの袋にまとめて入れて出してください。

Q10 生ごみ・紙ごみ袋が足りなくなったらどうすればよいですか？

A10 生ごみ・紙ごみをそのまま市指定の燃えるごみの袋に入れ、従来どおり指定のごみ集積所へ出してください。

Q11 生ごみ・紙ごみ袋が余ったらどうすればよいですか？

A11 実証試験終了後に余った袋は、廃棄していただいて構いません。

Q12 水切り袋や防臭袋を使ってもよいですか？

A12 はい。水切り袋や防臭袋は生ごみ・紙ごみ袋の中に入れていただけます。

Q13 指定袋以外を使ってもよいですか？

A13 いいえ。生ごみ・紙ごみは、配布した専用の生ごみ・紙ごみ袋に入れて集積所に出してください。

Q14 収集日はいつもと同じですか？

A14 はい。従来どおり燃えるごみの収集日に指定のごみ集積所へ出してください。

Q15 生ごみ・紙ごみ袋は毎日交換が必要ですか？

A15 いいえ。生ごみ・紙ごみを数日分まとめて生ごみ・紙ごみ袋に入れていただいても構いません。臭いや衛生面が気になる場合は、1日に複数枚使用しても問題ありません。1つの市指定の燃えるごみ袋に複数の生ごみ・紙ごみ袋を入れていただけます。。

以上